

## 【5/27 開催】大阪・関西万博のレガシーを、横浜の地で育む「循環型」の新プロジェクト 「やさしくなりたい。STUDIO」

キックオフイベントに小山薫堂氏 × 永山祐子氏が登壇

～大阪・関西万博から、2027 年国際園芸博覧会へ。コンセプトを継承し、幸せを育むプロジェクトが始動～



東邦レオ株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：吉川稔）は、2027 年 3 月に横浜で開幕する「2027 年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）」における出展 Village「やさしくなりたい。STUDIO」の始動を記念し、2026 年 5 月 27 日（水）、歴史的建築物である「九段ハウス」（\*1）にてキックオフイベントの開催を決定、5 月 8 日（金）より、一般参加の募集（無料・先着順）を開始いたします。

（予約サイト <https://greenexpohop1.peatix.com/>）

### ● 大阪・関西万博のレガシーを、横浜の地で育む「循環型」の新プロジェクト

東邦レオが GREEN×EXPO 2027 で展開する「やさしくなりたい。STUDIO」は、大阪・関西万博パナソニックグループパビリオン「ノモの国」のコンセプトを継承。永山祐子氏が設計した象徴的なファサードをリユース（再利用）し、大阪・関西万博から次なる博覧会へ、建築そのものを循環させる挑戦的な試みです。小山薫堂氏が率いる「AERA やさしくなりたいプロジェクト」と連携し、植物と建築が響き合う、一人ひとりの心が豊かになる社会の実現を目指します。



2025年大阪・関西万博 パナソニックグループパビリオン「ノモの国」 撮影：OMOTE Nobutada



2027年 GREEN×EXPO 2027 「やさしくなりたい。STUDIO」イメージ

● **小山薫堂氏・永山祐子氏らが登壇。ホップ苗の植樹セレモニーと特別対談**  
イベント当日は、「AERA やさしくなりたいプロジェクト」スペシャルオーガナイザーの小山薫堂氏、建築家・永山祐子氏に加え、同プロジェクト統括の木村恵子氏、東

邦レオの三田豊が登壇。これからの建築やコミュニティのあり方、そして本パビリオンが描く展望について語り合います。

・ホップ苗 植樹セレモニー：

登壇者一同によりパビリオンの象徴となるホップ苗 (\*2) を植え、プロジェクトの無事と成功を祈念します。(フォトセッションを予定)

・特別トークセッション：

テーマ：「やさしくなりたい。STUDIO」が描く、建築とコミュニティの未来

- ・「AERA やさしくなりたいプロジェクト」の軌跡と東邦レオの共鳴
- ・「動く建築」という挑戦 — パビリオンはリユースの時代へ
- ・「やさしくなりたい。STUDIO」で生まれる新たな体験

・交流会：

登壇者・参加者を交えたネットワーキング

## ● 登壇者プロフィール



### 小山薫堂

1964年熊本県天草市生まれ。日本大学芸術学部放送学科在籍中に放送作家としての活動を開始。「料理の鉄人」「カノッサの屈辱」などのテレビ番組を企画。

脚本を担当した映画『おくりびと』で第32回日本アカデミー賞最優秀脚本賞、第81回米アカデミー賞外国語映画賞を受賞。

執筆活動のほか、地域・企業のプロジェクトアドバイザーを務め、2025年大阪・関西万博では、テーマ事業プロデューサーとしてシグネチャーパビリオン「EARTH MART (アーススマート)」を手がけ、万博テーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を来場者の体験として形にする役割を担っている。また、熊本県のPRキャラクター「くまモン」の生みの親としても広く知られる。

2015年1月12日増大号AERA「やさしくなりたい。」特別編集長。2025年より、「AERA やさしくなりたいプロジェクト」スペシャルオーガナイザーに就任。



### 永山祐子

1975年東京生まれ。青木淳建築計画事務所を経て2002年永山祐子建築設計設立。主な仕事に「豊島横尾館」「ドバイ国際博覧会日本館」「東急歌舞伎町タワー」、大阪・関西万博「ウーマンズパビリオン」と「パナソニックグループパビリオン『ノモの国』」など。JIA 新人賞(2014)、山梨県建築文化賞、東京建築賞優秀賞(2018)、照明デザイン賞最優秀賞(2021)、WAF Highly Commended(2022)、IF デザイン賞(2023、2026)、第76回芸術選奨文部科学大臣新人賞など。現在「Torch Tower」などの計画が進行中。著書に『建築から物語



### 木村恵子

1999年、朝日新聞社入社。新潟・千葉支局で、警察や行政などを取材。2004年から「AERA」編集部。ライフスタイル、女性、子育て、教育、働き方、世代格差などを幅広く取材。第1子出産を経て、14年から副編集長。第2子出産を経て、医療健康編集部。18年4月から「AERA」副編集長兼「ジュニアエラ」編集長。21年4月から「AERA with Kids」編集長も兼任。22年4月から「AERA」編集長を務めたのち、現職。「AERA やさしくなりたいプロジェクト」統括。



### 三田豊

東邦レオ株式会社 GREEN×EXPO 2027 推進室ディレクター

「九段ハウス」などレガシー建築の利活用プロジェクトをはじめとして、団地の利活用、地域密着のブルワリーの企画、隈研吾さんと地球OSプロジェクトなど、様々なプロジェクトに関わり、幅広く活躍中。最近では音楽イベントである「築地JAM」も手掛ける。グリーンエキスポでは、コンテンツ開発を行っている。

## ● 開催概要

日時：2026年5月27日（水）15:30～17:30（受付開始15:00、会場は18時まで）

会場：九段ハウス（山口萬吉邸）東京都千代田区九段北1-15-9

登壇者：小山薫堂、永山祐子、木村恵子、三田豊

内容：植樹セレモニー、特別トークセッション、交流会

参加費：無料（事前申込制・先着順）

詳細・申込URL：<https://greenexpohop1.peatix.com/>

## ● 「やさしくなりたい。STUDIO」関連リンク

公式サイト：<https://yasashikunaritai.studio/>

公式Instagram：[https://www.instagram.com/yasashikunaritai\\_studio](https://www.instagram.com/yasashikunaritai_studio)

公式X：<https://x.com/yasashikun58219>

### 【注釈】



(\*1) 九段ハウス

1927年竣工。登録有形文化財である<旧山口萬吉邸>をリノベーションした会員制のビジネスイノベーション拠点。次世代のビジネスリーダー層を対象としたビジネスサロンの開催や特別なイベント、撮影場所などとして利用されています。

<https://kudan.house/>



(\*2) ホップ苗イメージ